

北海道・札幌「GX 金融・資産運用特区」の提案について

令和 6 年（2024 年）2 月 27 日

まちづくり政策局プロジェクト担当部

1 これまでの経緯

- 令和 5 年 4 月に G 7 環境大臣会合の札幌開催の機会を捉え、「脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言」を発表し、日本及び世界の GX に貢献していくという決意を表明。
- 北海道・札幌市では、北海道が持つ国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、アジア・世界の「金融センター」を実現するため、同年 6 月 23 日に産学官金の 21 機関で構成される GX・金融コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」を設立。
- 同年 12 月に、政府が「資産運用立国実現プラン」及び「金融・資産運用特区」の概要を公表。
- 令和 6 年 1 月 23 日、札幌市として北海道・札幌「GX 金融・資産運用特区」の提案書を金融庁に提出。

2 変更提案（案）

札幌市の特区提案のうち、GX に関わる部分について、札幌市を含む**全道域に拡大する変更提案**を、**3 月下旬を目途に北海道と共に国に提出**。

【主な変更部分】（ページは、別添の概要書の記載部分）

項目	変更部分
提案者（1 ページ）	北海道 を追加
地元の主体的な取組（2 ページ）	道税の優遇措置の検討 を追加
国への提案（3 ページ） <ul style="list-style-type: none">・規制緩和等・税制優遇等（国税）・整備・支援等・国の支援機関の設置等	GX に関わる部分を、 札幌市を含む全道域に拡大

3 今後の予定

- 3 月下旬を目途に変更提案を国に提出予定**。
- 国においては、**夏頃に具体的な支援策を盛り込んだ「金融・資産運用特区」のパッケージを公表予定**。